

地球温暖化対策実行計画(区域施策編)参考資料

〈用語集〉

- エコドライブ:地球環境に配慮した運転のこと。アイドリングストップや急加速急ブレーキの抑制など。
- 温室効果ガス:本来、地表面から放出される熱を吸収し、地表面を温室のように暖める働きがあるガスのこと。二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素など。
- カーボンニュートラル:企業、家庭からのCO2排出を抑えて森林による吸収量と相殺させること。カーボンゼロとは同義語。
- 再生可能エネルギー:エネルギー供給構造高度化法で「エネルギー源として持続的に利用することができる」と定義されている。太陽光、風力、水力やバイオマスが指定されている。
- バイオマス:生物体構成物質起源の産業資源。化石燃料を除く動植物由来の生成物。
- ブルー水素:グレー水素の生成の際に発生するCO2を処理し、大気中のCO2を増やさないもの。
- グリーン水素:再生可能エネルギーを使って水素を生成するもの。例としては太陽光発電で作られた電気で水を電気分解して生成した水素など。
- グレー水素:石油、天然ガス、石炭といった化石燃料から抽出される水素であり、水素を取り出す際にCO2が発生する。
- ペレット:小さい固まり。本計画では固めて燃料化を想定している。
- BEMS:HEMSのビル向けのシステム。
- BAUシナリオ:なにも対策しなかった場合のシナリオ
- COOL CHOICE:国の地球温暖化対策で示された脱炭素社会づくりに貢献する運動
- FIT(フィット):再生可能エネルギーの発電装置を設置した際の電力会社による固定価格買取制度
- FIP(フィップ):FIT後の新しい制度。買取価格は市場価格変動。
- HEMS:家庭の省エネルギーシステム。家電製品や給湯機器をネットワーク化し制御する。

(エネルギーの単位)

エネルギーの量に関しては、ジュール、ワットといった単位が使われます。

- J (ジュール) は、「1ニュートンの力で1メートル動かすときの仕事」と定義しています。
- Wh (ワット時) は、「1ワットの仕事率を1時間行ったときの仕事」です。

そのため、 $1 \text{ジュール} \times 60 \times 60 = 1 \text{ワット時}$ となります。

- K (キロ)、M (メガ)、G (ギガ)、T (テラ) は、国際単位系 (S I) の接頭辞でK (キロ) は 10^3 倍の量 (千倍)、M (メガ) は 10^6 倍の量 (百万倍)、G (ギガ) は 10^9 倍の量 (10億倍)、T (テラ) は 10^{12} 倍の量 (1兆倍) です。

～から ～へ	TJ (テラジュール)	GJ (ギガジュール)	MJ (メガジュール)	GW h (ギガワット時)	KWh (キロワット時)
TJ (テラジュール)	1	1.0×10^3	1.0×10^6	2.777×10^{-1}	2.777×10^5
GJ (ギガジュール)	1.0×10^{-3}	1	1.0×10^3	2.777×10^{-4}	2.777×10^2
MJ (メガジュール)	1.0×10^{-6}	1.0×10^{-3}	1	2.777×10^{-7}	2.777×10^{-1}
GW h (ギガワット時)	3.6	3.6×10^3	3.6×10^6	1	1.0×10^6
KWh (キロワット時)	3.6×10^{-6}	3.6×10^{-3}	3.6	1.0×10^{-6}	1